

(別添 2)

No.	4
策定年月	令和3年10月
見直し年月	

## 麦・大豆産地生産性向上計画 佐織地区産地 (作成主体:あまそだち農業再生協議会)

### 1. 麦・大豆の生産性向上・生産強化に向けた方針

当地域は、全耕地面積に対して主食用米の作付け割合が約6割を占める水田地域である。

近年の主食用米需要減少を受け、また将来的にも減少傾向が推測されている中で、加工用米や新規需用米の生産拡大や、レンコンやイチゴといった園芸品目の導入等と合わせ、麦、大豆の生産拡大が必要である。

麦・大豆の生産にあたっては、担い手への農地集積が進む中で、より低コストかつ効率性の高い生産を可能とする、集積化を視野に入れていかななくてはならない。また、当地域の特徴でもある、湿地帯との相性も踏まえたうえで取り組んでいかななくてはならないため、土壌の状況を理解し作付けを進めていかななくてはならない。需要に応じた品種の高品質で安定した収穫量を確保するためにも、地域の条件に適合した栽培方法の定着化は必須である。

これらを踏まえ、現在水田フル活用ビジョンを軸とした作付け拡大の取組を行い、生産性向上や生産拡大に係る取組を関係各所と連携し行うことで、ビジョンの実現化を図っていく。

## 2. 麦・大豆生産の現状と課題

### (1) 需要に応じた生産の現状と課題

当地域は、全耕地面積に対して主食用米の作付け割合が約6割を占める水田地域である。その中でより需要に沿った作物の作付けを行うためにも、麦の生産拡大が必要である。当地域は湿田地帯でもあるため、土壌の選定を行いつつ生産拡大を行っていく。小麦に関しては、現状は日本麺向け品種の「きぬあかり」とパン向け品種の「ゆめあかり」を生産しており、全量を愛知県経済農業協同組合連合会に出荷している。今後もパンや中華麺、うどん等の麺類といった市場拡大が見込まれる食糧の原料として安定した収量を確保していく必要がある。大豆については、生産量がほとんどない状況である。

### (2) 生産における現状と課題

近年管内においては、天候に恵まれたこともあり、単収は増加傾向にあったが、未だ単収の安定には至っていない現状がある。当協議会管内においては、今後の生産拡大に対応するため、農作業の効率化のために団地化と合わせ、適期作業と基本技術の実施が課題である。また、あまそだち農業再生協議会管内においては、有数なレンコンの産地ということもあり、湿地が広がっている特徴がある。そのため、作付け頻度の増加による地力の低下が生じているため、麦の作付けに合った土壌の選定と改良が必要である。

### (3)実績

#### ① 生産量

作物名	品種名	作付面積の推移(ha)			単収の推移(kg/10a)			生産量(t)		
		30年産	31年産	2年産(現状)	30年産	31年産	2年産(現状)	30年産	31年産	2年産(現状)
小麦	きぬあかり	22	22	17	213	427	341	47	94	58
	ゆめあかり			5			384			19
大麦										
作物計		22	22	22	213	427	350	47	94	77

作物名	品種名	作付面積の推移(ha)			単収の推移(kg/10a)			生産量(t)		
		○年産	○年産	○年産(現状)	○年産	○年産	○年産(現状)	○年産	○年産	○年産(現状)
大豆										
作物計		(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0

※ 田畑計の数値を記載している場合は、括弧内に田の面積を記載すること。

※ 必要に応じて適宜行を追加・削除すること。作付していない作物がある場合は空欄で良い。

※ 計画策定時に数値が把握できる直近3年の実績を記載する。麦と大豆で年産が異なっても良い。

※ 年産は必要に応じて適宜書き換えて使用すること。

※ 麦は必ず品種毎に整理すること。(大豆は品種ごとの記載が困難な場合は、一括の記載が可能)

## ② 団地化

作物名	品種名	30年産		31年産		2年産(現状)		備考
		団地化面積(ha)	団地化率(%)	団地化面積(ha)	団地化率(%)	団地化面積(ha)	団地化率(%)	
小麦	きぬあかり	4	18.2%	4	18.2%	4	23.5%	
	ゆめあかり					0	0.0%	
大麦								
作物計		4	18.2%	4	18.2%	4	18.2%	

作物名	品種名	○年産		○年産		○年産(現状)		備考
		団地化面積(ha)	団地化率(%)	団地化面積(ha)	団地化率(%)	団地化面積(ha)	団地化率(%)	
大豆								
作物計		0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	

※ 原則田の数値を記載するが、畑を含んでいる場合は、田の数値を括弧書きで記載すること。

※ 必要に応じて適宜行を追加・削除すること。作付していない作物がある場合は空欄で良い。

※ 団地化率は、団地化面積が当該品目の作付面積に占める割合を指す。現状数値以外は把握できる範囲の記載で良い。

※ 品種毎の記載が困難な場合は、麦全体及び大豆全体の数値のみの記載で良い。

## ③ 団地化率の計算に用いる団地の基準・考え方

県の団地化基準面積4haに合わせて行う事とする。

※ 都道府県の団地基準面積値を使用している場合は、その旨記載すること。

※ 都道府県の団地基準面積値と異なる場合は、必ず記載すること。